

平成 23 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名：株式会社夢真ホールディングス
 (コード：2362 JASDAQ, S)
 代表者名：代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾
 問合せ先：取締役 矢島 英一
 (T E L : 03 - 5981 - 0672)

平成 23 年 9 月期の業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ
並びに平成 24 年 9 月期業績予想の詳細に関するお知らせ

平成 22 年 10 月 29 日に公表しました平成 23 年 9 月期 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) の連結業績予想及び個別業績予想と決算値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成 24 年 9 月期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日) の業績予想詳細について、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 9 月期 連結業績予想値と決算値との差異

(1) 通期 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
					円 銭
予想値 (A)	5,200	620	620	350	5 45
決算値 (B)	6,816	542	451	102	1 37
増減額 (B-A)	1,616	△78	△169	△248	
増減率	31.1%	△12.6%	△27.3%	△70.9%	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 9 月期)	4,861	519	552	430	6 71

(2) 差異の理由

連結業績予想値と決算値との差異につきましては、個別の理由 (下記、「2. 平成 23 年 9 月期 個別業績予想値と決算値との差異」の「(2) 差異の理由」参照。) に加え、公開買付により、平成 23 年 5 月 31 日付にて、子会社化いたしました株式会社夢テクノロジー (旧株式会社フルキャストテクノロジー) にて、特別損失 58 百万円が発生しました影響で、当期純利益 102 百万円 (予想値より 70.9%減) となりました。

詳細につきましては、添付資料「業績予想の修正及び、特別損失の発生並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」(株式会社夢テクノロジー 平成 23 年 10 月 31 日付プレスリリース) をご参照ください。

2. 平成 23 年 9 月期 個別業績予想値と決算値との差異

(1) 通期 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
予想値 (A)	5,100	660	660	390	円 銭 6 07
決算値 (B)	5,459	728	535	244	3 74
増減額 (B-A)	359	68	△125	△146	
増減率	7.0%	10.3%	△18.9%	△37.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 9 月期)	4,849	608	644	505	7 87

(2) 差異の理由

個別業績予想値と決算値との差異につきましては、当社の中核事業であります建築技術者派遣事業が、住宅ローン減税等を主因とした新設マンション着工戸数の回復や東日本大震災の影響による首都圏での補修工事・耐震補強工事等の増加により需要が堅調に推移し、その結果、売上高 5,459 百万円 (予想値より 7.0%増)・営業利益 728 百万円 (予想値より 10.3%増) となり予想値を上回る結果となりました。

一方で、経常利益につきましては、営業外費用として、シンジゲートローン手数料等 121 百万円・社債発行費用 29 百万円が発生しました影響で 535 百万円 (予想値より 18.9%減) となりました。また、当期純利益につきましては、法人税の負担も当初計画より増加し、その結果 244 百万円 (予想値より 37.4%減) となりました。

3. 平成 24 年 9 月期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日) の業績予想

(1) 通期 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
① 株式会社夢真ホールディングス	6,300	1,100	1,000	550
② 株式会社夢テクノロジー	3,800	200	200	180
③ その他の連結子会社	900	△20	85	85
合 計	11,000	1,250	1,350	700

※連結調整は含まれておりません。

① 株式会社夢真ホールディングス

株式会社夢真ホールディングスの平成 24 年 9 月期業績予想につきましては、主力事業であります、建設現場への技術者派遣で、技術者の採用をさらに強化し、売上増加の体制を整えるとともに、前期大量採用した新人技術者の派遣単価の上昇、また、稼働率が 100%近い水準で高止まりしており、技術者不足となっていることから派遣単価の上昇が見込まれ、売上の増加、利益の積み増しに繋がっていきます。その結果、平成 24 年 9 月期の通期連結業績は、売上高 6,300 百万円 (前連結会計年度比 15.4%増)、営業利益 1,100 百万円 (前連結会計年度比 51.1%増)、経常利益 1,000 百万円 (前連結会計年度比 86.6%増)、

当期純利益 550 百万円（前連結会計年度比 125.4%増）を見込んでおります。

なお、建設業界では東日本大震災からの復興需要が見込めますが、その影響の予測が困難であるため、上記の業績予想には含めておりません。

② 株式会社夢テクノロジー

株式会社夢テクノロジーの平成 24 年 9 月期業績予想につきましては、技術者を年間 60 名～90 名採用し、技術力の底上げを行い、需要にタイムリーに対応できる体制を整えます。さらに営業部門には成果主義を徹底し、高水準のインセンティブを設けることで、営業員のモチベーションの向上を図り、強い営業集団を作ります。また、当社のコスト管理におけるノウハウを浸透させ、販管費の管理を徹底することにより、売上高 3,800 百万円（前連結会計年度比 9.4%減）、営業利益 200 百万円（前連結会計年度比 59.8%増）、経常利益 200 百万円（前連結会計年度比 58.7%増）、当期純利益 180 百万円を見込んでおります。

③ その他連結子会社

その他連結子会社の平成 24 年 9 月期業績予想につきましては、社会的ニーズの高い業界で、既存の経営資源を効率的に活用し、早期の安定化を目指し経営していく方針のもと、売上高 900 百万円、営業利益 △20 百万円、経常利益 85 百万円、当期純利益 85 百万円を見込んでおります。

以 上

<ご参考>

株式会社夢テクノロジーの公開買付に関わる事象を除外した場合の、みなし実績値は以下のとおりであり、平成 22 年 10 月 29 日に公表しました業績予想値との差異は以下のとおりとなります。

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
予想値 (A)	5,200	620	620	350	円 銭 5 45
みなし実績値 (B)	5,600	800	730	340	5 79
増減額 (B-A)	400	180	110	△10	
増減率	7.7%	29.0%	17.7%	△2.9%	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 9 月期)	4,861	519	552	430	6 71

※ 1 株当たり当期純利益の算定には、平成 22 年 10 月 29 日発表の業績予想値につきましては、平成 22 年 9 月 30 日現在の自己株式数を控除した株式数を、決算値・みなし実績値につきましては、平成 23 年 9 月 30 日現在の自己株式数を控除した株式数を用いております。

<添付資料>



JASDAQ

平成 23 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社夢テクノロジー
代 表 者 名 代表取締役社長 佐 藤 眞 吾
(J A S D A Q ・ コード 2 4 5 8)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 佐 藤 大 央
電 話 0 3 - 5 9 4 0 - 2 2 1 5

通期業績予想の修正及び特別損失の発生 並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、平成 23 年 9 月期（平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）において以下の特別損失の計上並びに繰延税金資産の取崩しをする見込となりましたのでお知らせいたします。また、平成 23 年 7 月 29 日公表の平成 23 年 9 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生並びに繰延税金資産の取崩しの内容

休業措置による人件費の計上が 46 百万円（既に開示済（内、東北地方太平洋沖地震による影響は 8 百万円）であり、平成 23 年 7 月～平成 23 年 9 月までに追加発生した金額はありません。）、資産除去債務会計基準の適用による計上が 2 百万円（既に開示済）、公開買付に関するアドバイザー費用が 25 百万円（既に開示済）、特別退職金 16 百万円（既に開示済）、廃寮および支店統廃合費用として 58 百万円を計上する見込となりました。

繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額（税金費用）約 210 百万円を計上する見込となりました。

2. 平成 23 年 9 月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期（平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	4,327	140	140	90	円 銭 1,576.18
今回修正 (B)	4,196	125	125	△178	△3,117.34
増減額 (B-A)	△131	△15	△15	△268	—
増 減 率	△3.0%	△10.6%	△10.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 9 月期)	4,290	256	256	219	3,879.52

(2) 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、ほぼ前回の予想通りとなる見込みですが、当期純利益につきましては特別損失発生の影響及び繰延税金資産の取崩しを行なう予定であることから、予想を大きく下回り、△178百万円となる見込みであります。

本資料に記載しております業績予想につきましては、公表時におきまして入手可能な情報に基づき算出したものであり不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因により本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上